

授業科目名	治療援助論	担当教員	◎鵜沢 淳子、有家 香、 中川 泰弥、新川 実穂	科目ナンバリング NF253
必修	開講年次：2年前期	単位：1単位	授業形態：演習30時間	

### 【授業概要】

生活援助技術に続いて、治療を受ける患者に必要な看護技術(投薬、注射、導尿など)、検査に関する看護技術を修得する。エビデンスに基づいた看護技術、安全・安楽の確保に基づく看護技術の方法を学ぶ。

### 【達成目標】

1. 治療援助で行われる看護技術について、エビデンスに基づいて対象者への安全・安楽を考えた看護技術を身につける。
2. 治療援助における無菌操作の重要性を理解し、医療器具を安全に取り扱う技術を身につける。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

- |                                    |               |
|------------------------------------|---------------|
| [01] 講義：感染とは                       | (鵜沢)          |
| [02] 講義：感染予防の技術                    | (鵜沢)          |
| [03] 演習：滅菌物の取り扱い                   | (鵜沢・有家・中川・新川) |
| [04] 講義：検査に伴う看護技術                  | (鵜沢・有家・中川・新川) |
| [05] 演習：一時的導尿(一時的導尿技術の実際)          | (鵜沢・有家・中川・新川) |
| [06] 演習：一時的導尿(一時的導尿の流れ)            | (鵜沢・有家・中川・新川) |
| [07] 演習：静脈内採血                      | (鵜沢・有家・中川・新川) |
| [08] 演習：技術チェック                     | (鵜沢・有家・中川・新川) |
| [09] 講義：呼吸・循環を整える技術                | (鵜沢)          |
| [10] 演習：呼吸管理の技術(一時的吸引法・酸素ポンベの取り扱い) | (鵜沢・有家・中川・新川) |
| [11] 講義：薬物療法(注射法以外の薬物療法)           | (鵜沢)          |
| [12] 講義：薬物療法(注射法による薬物療法・輸血療法)      | (鵜沢)          |
| [13] 演習：注射法の実際①(皮下注射の実際)           | (鵜沢・有家・中川・新川) |
| [14] 演習：注射法の実際②(点滴静脈内注射の準備)        | (鵜沢・有家・中川・新川) |
| [15] 演習：課題演習(呼吸管理と点滴管理の実際)         | (鵜沢・有家・中川・新川) |

### 【教科書】

- 1) 松尾ミヨ子他編者(2022)：ナーシング・グラフィカ基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ，メディカ出版
- 2) 松尾ミヨ子他編者(2022)：ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ，メディカ出版

### 【参考書】

- 1) 竹尾恵子監修(2019)：看護技術プラクティス第3版 Gakken
- 2) 医療情報科学研究所編集(2018)：看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 第1版，株式会社メディックメディア
- 3) 志自岐康子他 編(2017)：ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術，メディカ出版
- 4) 深井喜代子他 編(2017)：新・基礎看護生理学テキスト，南江堂
- 5) 深井喜代子他 編(2019)：改訂第2版基礎看護学テキスト EBN 志向の看護実践，南江堂
- 6) 深井喜代子編集(2021)：新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ，メジカルフレンド社。
- 7) 深井喜代子編集(2021)：新体系看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ，メジカルフレンド社。

\*その他講義中に適宜提示

### 【評価方法・評価基準】

筆記試験(80%)、技術試験(20%)

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業前に提示された事前課題を行い、該当単元に必要な基礎的知識を修得する。(1～2時間)

事後学習：授業で使用した資料をもとに、演習の自己練習により、振り返りによる自己の評価と課題を明確にする。(2～3時間)

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ、根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

各演習で提出した課題レポートについては、教員のコメントを入れ、授業終了後に返却する。

### 【備考】

- ①看護学概論、基礎看護学技術論、日常生活援助論での学びをもとに患者に行われる治療の援助技術を安全・安楽に患者への配慮を含めて学びを深める。
- ②行われる看護技術の根拠を臨床経験の知識をもとに具体的でわかりやすい方法で教授する。